

## 附属病院／集中治療部

## 1. 領域構成教職員・在職期間

部長(併)	重見研司	平成18年4月ー
講師	齊藤律子	平成27年11月ー
助教	北村倫子	平成27年11月ー
助教	坂口友里江	平成26年4月ー
特命助教	佐上祐介	平成26年4月ー
特命助教	松田修子	平成30年5月ー

## 2. 研究概要

## 研究概要

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

急性期の重症患者に対する栄養管理が予後に大きな影響を与えることは周知の事実となってきた。疾患の多様性、年齢、併存疾患等の患者背景因子、さらに治療による影響などを考慮して栄養管理を行う必要がある。高血糖あるいは血糖値の変動が患者予後に大きく影響することが報告されている。各種栄養剤投与における、血糖値、血糖値の変動、インスリンの必要度、胃内残留時間、逆流や嘔吐、下痢などの副作用、ICUの滞在期間、経口摂取が可能となる期間等、多面的分析を行い、栄養成分の違いによる、有用性・安全性を検討していく予定である。

## ●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎は病院内で人工呼吸器を装着したことによって新たに罹患した肺炎であり、ICU入室患者の3から4%を占め、ICU内の院内感染で最も多く、致命率も50%前後と非常に高い疾患である。治療としては抗菌薬の投与となるが、その抗菌薬に対しては、静菌的でなく、殺菌性を有し、感受性が高く、耐性選択能の高いことが要求される。当院では、前述の特徴を有した新しい抗菌薬TR-701FAの治療を開始しており、その安全性および有効性を検証していく予定である。

## ●冬眠の低体温療法への応用をめざして

Hibernation protein complex (HP complex) に注目し、HP complex をラットの脳室内に投与することにより冬眠が実現できるか、その時のバイタルサインやその他の生体機能がどうなっているか、投与終了後は合併症なく覚醒するかどうかを調べる。

この研究から、低体温療法に冬眠のメカニズムを取り入れ、より効果的で安全な低体温療法を開発することを目的とする。

## キーワード

栄養管理, 血糖コントロール, インスリン, 人工呼吸器関連肺炎, TR-701FA, 冬眠, 低体温療法, HP complex, 脳保護作用

## 特色等

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者に対する各種栄養剤の選択に関して、疾患別あるいは併存合併症から、インスリン必要度、血糖値の推移の観点から調べたものではなく、重症患者の栄養に関して一石を投じる可能性がある。

## 本学の理念との関係

## ●重症患者における各種栄養剤の有用性の検討

集中治療患者と栄養について、その本質から考え直すきっかけにしたい。

## ●人工呼吸器関連肺炎の新しい抗菌薬TR-701FAの安全性および有用性の検証

人工呼吸器関連肺炎による死亡率はまだまだ高く、その救命率を上昇させるきっかけにしたい。

## ●冬眠の低体温療法への応用をめざして

脳低体温療法で神経学的予後や生命予後が飛躍的に改善したり、心筋虚血やその他の臓器障害において、そのダメージを最小限にして救命率を上昇させたりということにも応用可能であると考えられる。高い倫理観のもと、医学発展に大きく貢献できると考えている。

## 3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2018年分		2018年分	
和文原著論文	0		—	
英文論文	ファーストオーサー	0	0 (0)	
	コメンティングオーサー	0	0 (0)	
	その他	0	0 (0)	
	合計	0	0 (0)	

## (A) 著書・論文等

## (1) 英文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (2) 英文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 原著論文（総説）

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

## e. 国際会議論文

## (3) 和文：著書等

## a. 著書

## b. 著書（分担執筆）

## c. 編集・編集・監修

## (4) 和文：論文等

## a. 原著論文（審査有）

## b. 原著論文（審査無）

## c. 総説

## d. その他研究等実績（報告書を含む）

1856001

坂口 友里江: 留学速報 Johns Hopkins University 留学記, 循環制御, 39(2), 118, 201809

1856002

坂口 友里江: 関連学会印象記 IARS2018, 循環制御, 39(2), 112, 201804

## e. 国際会議論文

## (B) 学会発表等

## (1) 国際学会

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

## d. 一般講演 (ポスター)

1856003

Y. Sakaguchi, K. Tsugita, Y. Matsuki, M. Kitamura, M. Hayabuchi, S. Matsuoka, T. Fujibayashi, K. Shigemi: Noninvasive Monitoring of Ventricular-Arterial Coupling during Non-Cardiac Surgery. International Anesthesia Research Society 2018 Annual Meeting, Chicago (USA), 20180429

## e. 一般講演

## f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル)

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

1856004

坂口 友里江, 松田 修子, 佐上 祐介, 北村 倫子, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 腹腔内温熱化学療法術後に輸液量が多いと術後合併症や在院日数が増加する. 第46回集中治療医学会学術集会, 国立京都国際会館(京都), 20190301

1856005

早瀬 光代, 坂口 友里江, 木戸口 周平, 濱田 敏彦, 松岡 達, 早瀬 由朗, 重見 研司: 左心室大動脈結合状態(Ees/ Ea)と一回拍出量(SV)から左心室拡張末期容量(Ved)を算定する方法. 第39回日本循環制御医学会, MRT micc (宮崎市), 20180602

1856006

坂口 友里江, 早瀬 光代, 次田 佳代, 田畑 麻里, 早瀬 由朗, 岡藤 和博, 重見 研司: 年齢と性別による左室大動脈カップリングの比較検討. 第39回日本循環制御医学会, MRT micc (宮崎市), 20180602

## d. 一般講演 (ポスター)

1856007

佐上 祐介, 藤林 哲男, 宗石 啓和, 片岡 滯, 松田 修子, 坂口 友里江, 佐藤 倫祥, 北村 倫子, 齊藤 律子, 重見 研司: 多発性骨髄腫に合併し、治療に難渋した胃腸炎による大量水様便の一症例. 第46回集中治療医学会学術集会, 国立京都国際会館(京都), 20190301

1856008

松田 修子, 奥野 絢子, 松木 悠佳, 川上 浩文, 重見 研司: 全身麻酔導入・気管挿管後に瞳孔不同が発見された2症例. 日本臨床麻酔学会第38回大会, 北九州国際会議場(北九州市), 20181102

1856009

早瀬 光代, 早瀬 由朗, 次田 佳代, 坂口 友里江, 田畑 麻里, 松岡 達, 木戸口 周平, 重見 研司: 左心室大動脈結合状態(Ees/ Ea)と一回拍出量(SV)から左心室拡張末期容量(Ved)を算定する方法. 日本臨床麻酔学会第38回大会, 北九州国際会議場(北九州市), 20181102

1856010

宗石 啓和, 松木 悠佳, 片岡 滯, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 佐藤 倫祥, 重見 研司: 歴史的豪雪に対する大学病院手術室の対応. 日本臨床麻酔学会第38回大会, 北九州国際会議場(北九州市), 20181101

1856011

中西 侑子, 関 久美子, 次田 佳代, 佐藤 倫祥, 齊藤 律子, 宗石 啓和, 片岡 滯, 神澤 聖一, 竹内 健二, 重見 研司: 大学病院における小児稀少疾患の麻酔の準備について -CHARGE症候群を経験して-. 日本小児麻酔学会第24回大会, 神戸ポートピアホテル(神戸市), 20181020

1856012

早瀬 光代, 坂口 友里江, 濱田 敏彦, 木戸口 周平, 藤林 哲男, 重見 研司: 左心室大動脈結合状態(Ees/ Ea)と一回拍出量(SV)から左心室拡張末期容量(Ved)を算定する方法. 日本麻酔科学会第65回学術集会, パシフィコ横浜(横浜市), 20180518

1856013

鈴木 裕紀子, 松木 悠佳, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 藤林 哲男, 重見 研司: 開腹手術における1回拍出量変動(SVV)と脈圧変動(PPV)の関係と追従性の検討. 日本麻酔科学会第65回学術集会, パシフィコ横浜(横浜市), 20180518

1856014

奥野 絢子, 松木 悠佳, 鈴木 裕紀子, 中西 侑子, 齊藤 律子, 重見 研司: ロボット支援下腹腔鏡前立腺全摘術における肺リクルートメントの有用性. 日本麻酔科学会第65回学術集会, パシフィコ横浜(横浜市), 20180518

1856015

松木 悠佳, 長田 理, 宗石 啓和, 片岡 滯, 中西 侑子, 重見 研司: プロポフォール注入制御システムによる投与調節と麻酔科担当によるプロポフォール投与調節の比較. 日本臨床麻酔学会第38回大会, 北九州国際会議場(北九州市), 20181102

1856016

溝上 真樹, 土屋 博紀, 竹内 健二, 神澤 聖一, 佐上 祐介, 重見 研司: マルチモーダル鎮痛に用いられる種々の薬物に関する機序的膜作用の特徴. 日本麻酔科学会第65回学術集会, パシフィコ横浜(横浜市), 20180517

1856017

藤林 哲男, 齊藤 律子, 北村 倫子, 佐藤 倫祥, 佐上 祐介, 坂口 友里江: Internet of Things (IoT)を用いた手指衛生モニタリングシステムの有用性. 日本麻酔科学会第65回学術集会, パシフィコ横浜(横浜市), 20180518

## e. 一般講演

## f. その他

## (3) 国内学会 (地方レベル)

## a. 招待・特別講演等

## b. シンポジスト・パネリスト等

## c. 一般講演 (口演)

1856018

小原 洋昭, 松田 修子, 松木 悠佳, 竹内 健二, 藤林 哲男, 重見 研司: 硬膜外カテーテルの留置で一過性の膀胱直腸障害が出た一例. 東海・北陸ペインクリニック学会第26回北陸地方会, 白鳳会ホール(福井大学), 20190310

1856019

佐上 祐介, 藤林 哲男, 奥野 絢子, 坂口 友里江, 佐藤 倫祥, 北村 倫子, 齊藤 律子, 重見 研司: 動脈からの活動性出血により一時呼吸不全および出血性ショックに陥ったVon Recklinghausen病(神経線維腫症1型)の一例. 第2回日本集中治療医学会東海北陸学術集会, 石川県地場産業振興センター(金沢市), 20180609

## d. 一般講演 (ポスター)

1856020

片岡 滯, 坂口 友里江, 宗石 啓和, 奥野 絢子, 藤林 哲男, 重見 研司: 妊娠15週妊婦に対する広汎子宮頸部摘出術の麻酔経験. 日本麻酔学会 東海・北陸第16回学術集会, 石川県音楽堂(金沢市), 20180908

1856021

次田 佳代, 松木 悠佳, 坂口 友里江, 田畑 麻里, 松岡 達, 重見 研司: 動脈圧波形下降脚を指数関数で近似して求めた平均体循環充満圧. 日本麻酔学会 東海・北陸第16回学術集会, 石川県音楽堂(金沢市), 20180908

1856022

八幡 えり佳, 川野 貴久, 木村 哲也, 藤林 哲男, 林 寛之, 重見 研司: ヒドロコルチゾン, ビタミンC, サイアミンの3剤併用により救命した敗血症性ショックに2例. 第2回日本集中治療医学会東海北陸学術集会, 石川県地場産業振興センター(金沢市), 20180609

1856023

坂口 友里江, 佐上 祐介, 佐藤 倫祥, 北村 倫子, 齊藤 律子, 藤林 哲男, 重見 研司: 変換症として精神科入院中に呼吸不全となり重症無力症が判明した一例. 第2回日本集中治療医学会東海北陸学術集会, 石川県地場産業振興センター(金沢市), 20180609

## e. 一般講演

## f. その他

業績一覧

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

1856024

宗石 啓和, 藤林 哲男, 松田 修子, 佐上 祐介, 坂口 友里江, 佐藤 倫祥, 北村 倫子, 齊藤 律子, 重見 研司: 当科ICUで30日間以上血液浄化療法を施行した症例の検討, 第22回北陸急性血液浄化療法談話会, ANAホリデイ・イン金沢スカイ, 20181117

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(G) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
----	---------	-------	------	------	--------	---------

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間（年度）	金額（配分額）
----	------	-----	------	------	--------	---------

(B) 奨学寄附金

受入件数	受入金額
------	------

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の委嘱

学会の名称	役職	氏名
-------	----	----

(C) 座長

国内学会	学会名	氏名
------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	委員長（主査）・委員	氏名
----------	------------	----

(E) その他